



# 輝け 未来へ 中番校

## No one will be left behind



「第2回安全な登下校 PROJECT」。よく頑張りました！

– Change (変革), Challenge (挑戦), Continue (継続) –

学校周辺の田は、田植えが終わりました。小さな苗が風に靡いています。これから日毎に大きくなっていきます。今、田を見ると水の中にその苗の緑を見つける感じですが、徐々に稲は背丈を伸ばし、田に占める緑の割合がどんどん増していきます。そして、秋には黄金色の稲穂がたわわに実ることになります。その稲の生長のごとく、私達も日々、成長し続けたいものです。このように田の様子も留まることを知らず、その姿を変えていきます。生命の息吹を感じます。正に日本の風景ですね。

さて、先週の木曜日に「第2回安全な登下校プロジェクト」が終わりました。前回、お伝えしましたが、登校班長は、本当によく頑張り、その責任を果たしてくれたと思います。今回は、その結果について少し考えてみたいと思います。前回に比べてよくなったところとしては、1点目、達成できた班の数が増えました。2点目、評価項目(①集合時刻・出発時刻を守る。②列を崩さず、並んで登下校する。③横断歩道など、横断する場合、できるだけ短い時間で横断する。④遅れないように歩く。⑤班長、班員が、お互いに協力できる。)の全ての項目において平均得点が前回は上回りました。改善が必要と思われるところは、得点は上がったものの評価項目②列を崩さず、並んで登下校する。については、まだ少し課題が残っていると思われます。前回よりも得点が増え、達成率が向上したことから、児童の意識もより高まっていることが分かります。このことは、大変、嬉しく、喜ばしいことです。下校時においては、班長が全てを把握することは難しい面もありますが、班長の自覚と責任において、その評価を任せたいと思います。令和4年度より、学校に入る時間を7時50分から8時迄と、以前より

5分遅くしております。このことについては、昨年度と本年度のPTA役員の皆様、地域の見守り隊の方々とも相談をさせていただき、午前8時前に登校できるように概ね各登校班の出発時刻を10分程度遅らせていただきました。そのことにより、今までとは登校班の学校到着順、時間帯等が変わっております。ただ、例え10分とはいえ、慌ただしい朝の時間帯です。ご不便をおかけすることになった保護者の方もおられるのではないのでしょうか。そのような中、学校へのあたたかいご理解とご協力を賜っておりますこと、深く感謝申し上げます。誠にありがとうございます。登下校については、どのようなことが起こるか分かりません。事故のニュースを見聞きすると、歩道を歩いていたからといって決して安全・安心ということではありません。校区内の道路事情においても、道幅も狭く、歩道も十分整備されているとはいええない状況にあります。例え相手に過失があったとしても事故に巻き込まれるといった可能性があります。子供達の安全な登下校については、誰もが交通ルールの遵守と交通安全への高い意識を持つことが必要且つ重要です。加えて、子供達自身の交通規範への高い認識・理解が必要不可欠であることも言うまでもありません。子供達の安全な登下校への意識を高め、それを維持する為にも、今後も継続した取組を行っていくことが大切であり重要と考えています。毎朝、出発時刻に間に合うように子供達をきちんと送り出していただくことは、保護者の皆様のお力添えなくしては到底成り立ちません。毎日決まった時刻に登校できる、そして安全に登校できる、そのことは大変ありがたいことであり、喜ばしいことであり、そのことが子供達の安全・安心に繋がっていることは間違いありません。今後とも児童の安全・安心の為、変わらぬご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

中番小学校は、子供達、保護者の皆様、地域の皆様と相互に連携を深め児童にとって、「明日も行きたい! 学びたい! 学校」を目指し、様々な教育活動を進め、共に歩んでいきたいと願っております。